The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	新年のごあいさつ　第205号
Author(s)	今田, 光三; 西野, 誠; 中谷, 紀久雄 他
Citation	makoto. 2024, 205, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/93347
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

新年のごあいさつ

一般財団法人大阪防疫協会
理事長
今田　光三

新年あけましておめでとうございます。

日頃から何かとお力添えを賜り、本当にありがとうございます。

当協会は、昭和22年５月15日（1947年）に設立され、以来、多くの公益活動と収益事業を通じて、皆様方より暖かいご支援・ご指導・ご鞭撻をいただき、おかげさまで、本年５月（2024年）で創立77周年を迎えます。

さて、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上の位置づけが「５類」に変わり、様々な施設への入場制限もなくなるなど、以前の社会へと一気に戻りつつあります。

行動規制の緩和や水際対策の終了により訪日旅行者の増加など非常にうれしい反面、単純にコロナ以前の形に戻ることでいいのだろうかという素直な疑問も生じます。また、次の感染症危機に向けたCOVID-19対策の丁寧な検証を行うべき時期だろうとも思います。

また、世界情勢を見渡すと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化し、また、イスラエルとイスラム武装組織ハマスの一連の衝突により多くのかけがえのない命が失われ、報道を見るにつけ、その惨状に胸が締め付けられる思いであり、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを痛感させられます。

国内外とも激動の時代で厳しい環境には置かれておりますが、私どもは、10年後、20年後の未来を見据えて、新しい時代のニーズにお応えするために、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する公益法人設立当初の目的の実現に向け、積極的に民間の知恵と財源を集め、また技術者集団として高いレベルを保ち続け、精力的かつ これまで以上に社会に貢献すべく努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年のごあいさつ

大阪府健康医療部長
西野　　誠

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日ごろから大阪府の健康医療行政に格別の御支援、御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症について、昨年５月に感染症法上の位置付けが変更になり、大きな節目を迎えることとなりました。３年超にわたり、貴協会をはじめ各関係機関の皆様、そして府民の皆様から多大な御協力をいただきながら、感染の波ごとに現場のご意見をいただきながら様々な対策を実施してまいりました。

今般の経験を踏まえ大阪府では、今後の新興感染症の発生・まん延に備え、医療機関等との協定締結による実効性を担保した医療・療養体制の構築等、新たな取組みを盛り込んだ大阪府感染症予防計画の策定を進めております。この計画に基づき、感染症の発生状況に応じて防疫措置を講ずる事後対応だけでなく、医療提供体制や検査体制について平時からの着実な備えに重点を置いた事前対応の施策を推進し、府民の皆様にとって安心・安全な医療・療養体制を構築してまいります。

また、2025年には「大阪・関西万博」の開催が予定されており、国内外の人の行き来がさらに活発になることが予想されます。海外からの感染症や外来生物の流入等、様々なリスクに対応できるよう、本府としても、各関係機関と連携しながら感染症対策を進めてまいります。

貴協会がこれまで培ってこられた公衆衛生に関する豊富な経験や専門的知見は、感染症の発生予防やまん延防止対策にあたり非常に心強いものです。今後とも大阪の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様方の御健勝をお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

大阪市健康局
生活衛生担当部長
中 谷　紀久雄

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申しあげます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する知識の普及啓発に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表する次第であります。

さて、近年、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、インバウンドの消失により経済面で大きなダメージを受け、行動制限などによって市民生活も様々な影響を受けました。ようやく昨年、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「５類感染症」になり、社会経済活動の正常化が進み、国内外から多くの人が集まる催しも開催されておりますが、会場となる施設及びその周辺の防疫対策が重要となります。

貴協会が永年にわたり培ってこられた豊富な知識や経験は、大阪市としても非常に心強く、今後とも、市民の安全・安心の確保に御尽力いただくとともに、専門的な見地から公衆衛生の向上に寄与いただくことを期待申し上げます。

大阪市といたしましても、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、日本の魅力や技術力を全世界に発信する絶好の機会である2025年大阪・関西万博を盛大に開催するための取組みに全力を尽くし、併せてこれまでの成長戦略を加速させ、万博のその先に大阪の成長を引き継いでいきたいと考えております。大阪の成長を確かなものとするため、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申しあげます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。

新年のごあいさつ

堺市健康福祉局
保健所次長
藤 川　桂 祐

新年あけましておめでとうございます。

今田理事長をはじめ一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに2024年の新春を迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申しあげます。

さて、本市では昨年10月、Ｇ７大阪・堺貿易大臣会合を開催し、Ｇ７各国をはじめ招待国、国際機関の方々をお迎えしました。

開催にあたっては、関係機関と協力し、おもてなしの準備だけでなく、医療体制の整備や会合施設の監視指導など、万全の対策を実施しました。地元自治体として、安全かつ有意義な会合開催の一翼を担えたのではないかと考えております。

この経験により得たノウハウは本市の貴重な財産として、来年に控えている2025大阪・関西万博においても、十分に活かしてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行し、これまで制限されていた社会活動が本格的に再開しました。市民の健康、安全・安心の確保を第一に、今後もより強固な保健医療体制の構築に取り組んでまいります。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

東大阪市健康部長

田中　健司

新年、明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市保健衛生行政に多大な、ご支援、ご協力並びにご尽力をいただきまことにありがとうございます。

2025年には大阪・関西万博が開催が予定されています。本市では、機運醸成のためHANAZONO EXPOを11月に開催しました。いのち輝く未来社会のデザインという、万博の理念をつなげる取り組みや、普段はアプローチしづらい層にも健康の大切さを意識してもらう機会を創出することができました。ウェルビーイング実現に向けても、取り組みを関係機関と連携し推進していきます。

国際的なイベントでは、人・モノが活発に移動しています。今後も、グローバル化が進み、海外との交流が活発化することにより、持ち込まれる感染症の拡大リスクが高まることが懸念され、全国的にもトコジラミの相談が増えており、健康危機管理の一端を担う防疫業務はますます重要になります。

地域に目を向けると、本市は国定公園を含む生駒山が東に聳え、豊かな自然との共存は、同時に感染症対策を含む健康危機管理対策が必要となります。昨年は、異常気象のためか、スズメバチの相談が増え、カメムシが異常発生するなどの現象があり、貴協会が様々な形でご活躍されたと聞き及んでいます。

本市といたしまして、貴協会が長年にわたり蓄積された経験や優れた技術、知識を駆使され市民の生活を守っていただいていることについて真に感謝しております。今後も、本市保健衛生行政にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会のますますのご発展と、皆様のご活躍とご健勝ご多幸をこころより祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

高槻市健康福祉部長

根尾　俊昭

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年５月８日、国民の生活や経済活動に多大な影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが２類相当から５類に移行しました。しかしながら、今後も、医療ひっ迫を生じさせる懸念がある感染症であることに変わりはありません。本市としても、地域医療体制の更なる充実に向けて、引き続き、力を入れて取り組んでまいります。

さて、本市では昨年４月、初期救急を担う高槻島本夜間休日応急診療所が移転し、新たな施設、設備の整った診療所としてリニューアルいたしました。本市には、地域医療支援病院５病院など11の二次救急病院に加え、三次救急を担う大阪医科薬科大学病院救命救急センター、高槻病院小児救命救急センターが所在し、初期救急から三次救急まで対応する救急医療提供体制が整備されており、100%近い市内救急搬送率を誇っています。このような充実した医療基盤や市民一人一人の健康への高い意識と行動もあり、本市の健康寿命は大阪府内の市において、女性は４年連続１位、男性も常に上位をキープしています。

今後も、すべての市民がいきいきと暮らすことができ、質の高い医療･介護が受けられる「健康医療先進都市」を推進してまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術により、今後とも市民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

豊中市健康医療部長

松浪　桂

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、新春を迎え、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和２年以降、保健医療だけでなく、生活にも多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の流行に対し、本市では医療機関をはじめとする関係団体の皆様との連携体制を強化するとともに、庁内応援体制やデジタル化を図り、保健所職員一丸となり対応してまいりました。令和５年５月８日に感染症法の位置づけが5類感染症に変更され、大きな転換点を迎えました。また、mRNAワクチン開発に貢献したカリコ氏らがノーベル生理学・医学賞を受賞されたことも記憶に新しいことと思います。

本市では、これまでの経験を踏まえ、令和５年度に健康危機対策課を新設し、感染症や災害に対する体制強化に取り組んでおり、改めて平時からの市民への感染症やワクチン等に関する知識の普及啓発の重要性を認識しています。また、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの観点からも平時からの健康管理が重要と考え、本市の基本政策である「安全、安心に暮らせるまち　とよなか」「いきいきと暮らせるまち　とよなか」を目指し、健康施策に取り組んでいます。

貴協会におかれましては、永年にわたり、公益活動や事業を通じて培われた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識とご経験、高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも安全・安心に暮らせるまちづくりに向け、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

枚方市健康福祉部長

林　訓之

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和２年より猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、昨年５月８日に見直され、指定感染症における２類相当感染症から５類感染症へ移行されました。これにより感染者の全数把握はなくなり、定点の医療機関からの報告により、その流行状況を把握することになりました。また、国から一律に日常の基本的感染対策が求められることなどはなくなり、感染対策の実施は個人や事業者の判断が基本となりました。

しかしながら、依然としてコロナウイルスの脅威が消えたわけではございません。特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方におかれましては、感染した際に、発症し病状が悪化するおそれがあります。これらの方をいかにお守りするのか、本市としてしっかりと対策を進めていきたいと思います。

また、昨年より、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、感染症法等が一部改正されたことにより、本市においても感染症発生の予防及びまん延防止のための対応強化に向けて、「枚方市感染症予防計画」の策定に向け取り組んでいるところです。

貴協会におかれましては、様々な危機事象に際してもこれまで培ってこられた豊富な知識、経験と高度な技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ

八尾市健康福祉部長

當座　宏章

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新たな年を迎え、心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルスによるパンデミックを経験して健康福祉部は改めて市民の健康と福祉を支える使命があることを強く認識しました。昨年５月に新型コロナウイルスが感染症法の２類相当から５類に移行され、保健所も通常業務に戻りました。しかしながら、新型コロナウイルスは完全に消滅したわけではなく、変異しながら感染を続けています。本市では感染拡大防止のため、引き続き市民への無料のワクチン接種を行ってまいります。

本市健康福祉部では「みんなの健康をみんなで守る市民が主役の健康づくり」を基本理念とし、すべての人が生きがいと活力ある生活を送ることができるよう、医療や保険に関わるサービスの充実を図るとともに保健所の権限を活かし、保健・福祉・医療の一体的な取り組みによる保健衛生施策の展開を図ることとしています。さらに新興感染症及び大規模災害に対応する健康危機管理や生活衛生、難病対策などの専門的な保健衛生活動に取り組みながら公衆衛生における関係機関等とのハブとなる「見る・つなぐ・動かす」機能を発揮し、公衆衛生の専門機関・拠点としての役割を果たす中で、市民の各種健康課題の克服に貢献するとともに、いきいきと活気にあふれる「健康都市やお」の実現に向けて取り組んでいます。

また、2025年の大阪・関西万博では、「大阪ヘルスケアパビリオン」に自治体として唯一出展することが決定されており、本市の経済発展と活性化につなげてまいりたいと考えています。

結びに貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますとともに益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

寝屋川市健康部長

木場　富士夫

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年５月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症となり、全国的に行動制限が解除され経済活動が本格的に復活しつつあります。本市としましても、対策部署の再編が行われ、自粛要請や公費負担、陽性者への連絡の終了など流行以前の体制へと戻りつつあります。一方で、新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、インフルエンザ等の従来からの感染症についても引き続き注視していく必要があることから、コロナ対応で得られた知見を活かしながら総合的に取り組みを進めてまいります。

さて、本市では昨夏、４年ぶりに「寝屋川まつり」を開催することができました。まつりには約４万５千人もの方が訪れ、盆踊りや各種ステージでの太鼓やダンス、市民パフォーマンスなどの発表のほか、よしもと人気芸人らによるお笑いライブも行われ、観客からは笑いと歓声が巻き起こり、市の夏の一大イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。このように大勢が参加するイベントを開催できたのは、ここに至るまでに医療従事者をはじめ、行政や民間企業、市民の方々までが様々な感染症対策を実践していただいたおかげであると考えております。

今後も市民生活に寄り添い、市民の皆様が安全、安心に暮らしていけるよう努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

吹田市健康医療部長
梅森　徳晃

あけましておめでとうございます。
一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

旧年中は本市の健康医療行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが昨年５月８日から５類に変更され、本市においても保健所設置当初から続いていた新型コロナウイルス感染症に係る体制等も大きく変わりました。療養支援については、入院措置等の行政の強い関与がなくなることから、ホームページや市報等で情報発信に努めるとともに、影響が大きい医療機関や高齢者施設等には説明会を開催するなど、関係機関が混乱しないよう対応いたしました。医療提供体制については、平時の体制へ移行する一方、医療機関の負担が急激に増えることのないように、９月末までは、入院調整が困難な場合などの保健所の支援を継続し、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症患者が受診できる医療体制に向けて対応してまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症へのこれまでの取組みを踏まえ、令和４年12月公布の改正感染症法では、保健所設置市にも「感染症予防計画」の策定が新たに義務付けられました。そのため、本市におきましても、大阪府や府内政令中核市と情報共有を図りながら、本年３月の策定を目指し、作業を進めているところです。今後も次の感染症危機に備えるため、平時からの医療機関等との連携強化や綿密な準備を通じ、感染症発生及び蔓延時における対策を機動的に実施できるよう努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の健康医療行政の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

一般財団法人
阪大微生物病研究会
理事長
米田　悦啓

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は当財団のワクチン事業や検査事業へ格別のご理解とご愛顧を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年は、各地で「夏日」の日数が更新され、気候変動の影響を強く感じる一年でした。気温や降雨量の変化は、例えば蚊を媒介する感染症との関係も示唆されています。感染症の拡大を抑えるためには、ワクチン接種や害虫駆除などの衛生対策がますます重要になると考えます。

さて、今年は辰年ですが、干支は本来、十干と十二支の60通り組み合わせにより年・月・日・方位・事柄を示すものです。2024年は「甲辰（きのえたつ）」で、「甲」は十干の1番目で、生命や物事の始まりを象徴します。十二支の「辰」は「振」で、「ふるう、ととのう」を意味し、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形が整う状態を表します。そのため、「甲辰」年は陽のエネルギーに満ちた年とされています。コロナ禍では多くの制約がありましたが、私たちもその中において知恵と技術を結集し前進してきました。本年はその知恵や技術が大いに芽吹くことを願っています。

当財団は本年で設立90周年を迎えます。私たちの使命である、「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る」ために、これまで以上にワクチンの開発と生産、供給を通じて社会への貢献を続けてまいります。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。